

頭頸部がんに対する化学放射線療法中の患者さんのための 摂食嚥下リハビリテーション

頭頸部への放射線療法における副作用として、正常な細胞に対する放射線の影響により、飲み込み(嚥下)^{えんげ}に影響が生じることがあります。また、化学療法を同時に行うことで、粘膜炎、皮膚炎などがさらに強く出現します。

当院では、化学放射線療法を受ける患者さんが、安全にお食事が続けられるように、リハビリテーション部と耳鼻咽喉科が協力して、化学放射線治療開始前から摂食嚥下リハビリテーションを行っております。

摂食嚥下リハビリテーションでは、①耳鼻咽喉科医が嚥下機能を評価し、②リハビリテーション科医が、患者さんの身体機能や生活状況について診察し、③言語聴覚士が飲み込みのトレーニングを指導致します。

- ① 嚥下のトレーニングの紹介・指導
- ② フォローアップ(入院中・週1回程度)
- ③ 食べやすいお食事のアドバイス

…などお手伝いをします。



言語聴覚士
(ST)